

## 取り組みの課題

③ 3年以内の離職者に対する  
就労環境の改善推進(働き方改革)について

# 平成31年3月から適用する公共工事設計労務単価

◇平成31年3月から適用する公共工事設計労務単価は、前回改定と比較し全国平均で3.3%の増  
北陸3県(新潟県、富山県、石川県)においては平均で4.9%の増。

[全国全職種単純平均 24,444円(対前年度比 +3.3%増 783円増)]

北陸3県(全職種単純平均)

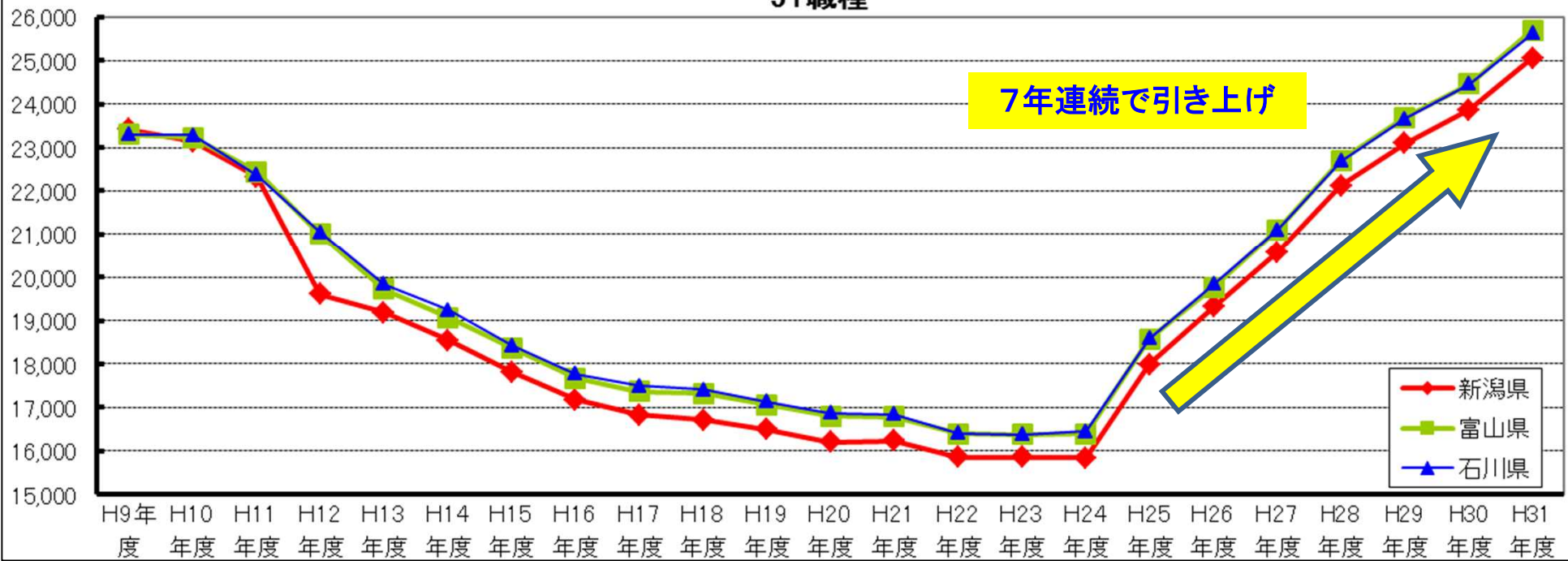
- 新潟県 25,054円(対前年度比 +5.0%増 1,191円増)
- 富山県 25,693円(対前年度比 +5.0%増 1,226円増)
- 石川県 25,630円(対前年度比 +4.8%増 1,170円増)

[3県平均 25,459円(対前年度比 +4.9%増 1,196円増)]

※北陸地方整備局計算値

公共工事設計労務単価の推移  
51職種

公表を開始した平成9年度以降で最高値

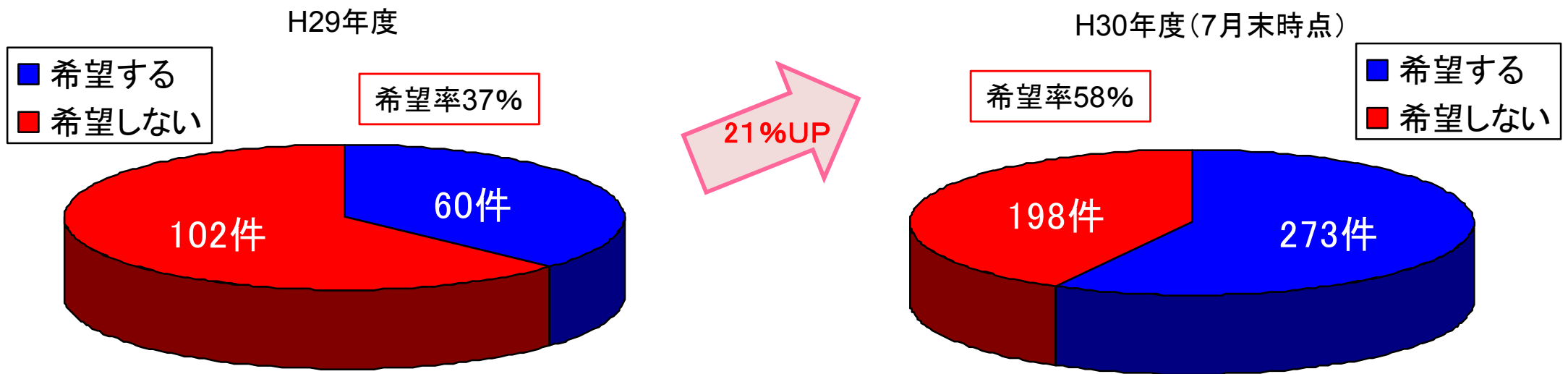


※平成23年度から「屋根ふき工」を除く ※平成27年度は「屋根ふき工、石工、ブロック工、さく岩工、タイル工、建具工、建築ブロック工」を除く  
※平成29年度から「石工(富山県、石川県)」、「山林砂防工(新潟県)」、「ブロック工、屋根ふき工、タイル工、建築ブロック工」を除く

# 建設現場における週休2日 取り組み状況

- 週休2日 **対象工事**の適用を拡大し、働き方改革を推進
- 週休2日の取得に取り組む企業を拡大するため、労務費、機械経費(賃料)、共通仮設費、現場管理費について、現場閉所の状況に応じて補正係数を乗じ、必要経費を計上
- また、**発注者指定方式の試行を新規に取り組み**、**施工条件確認部会・工程調整部会の原則開催及び工程共有強化型の試行を継続**

## ■週休2日モデル工事の取り組み状況(7月末時点 契約件数ベース) ※協議中の工事を除く



		契約件数(希望件数)	
		H29年度版運用	H30年度版運用
受注者希望方式	標準型	154(54)	443(250)
	工程共有強化型	8(6)	11(6)
	小計	162(60)	454(256)
発注者指定方式	標準型	—	17(17)
合計		162(60)	471(273)
希望率		37%	58%

R1.7末時点 (件)

H30年度 新規

※上表の数字は、協議中の工事を除く

# 若手技術者の育成(若手技術者表彰)

## 【目的】

建設業の担い手の確保・育成のため、表彰により、若手技術者のモチベーションアップを期待するとともに、表彰を通じて、技術者の技術力の向上をサポートするため、北陸地方整備局所管の工事施工や業務成果において、秀でた若手技術者を表彰しています。

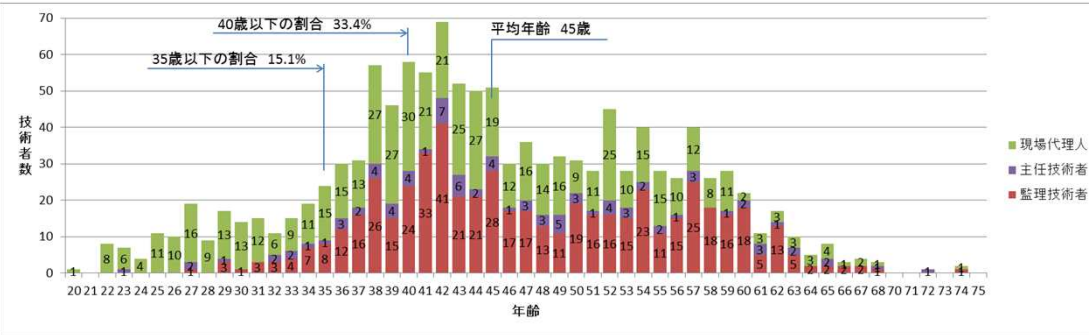
## 【表彰者】

平成30年度は、平成29年度に、完成した工事737件から、40才以下を対象として現場代理人6名と監理技術者4名、業務952件から、45才以下を対象として管理技術者5名の計15名を選定し、平成30年12月5日に表彰式典を挙りました。

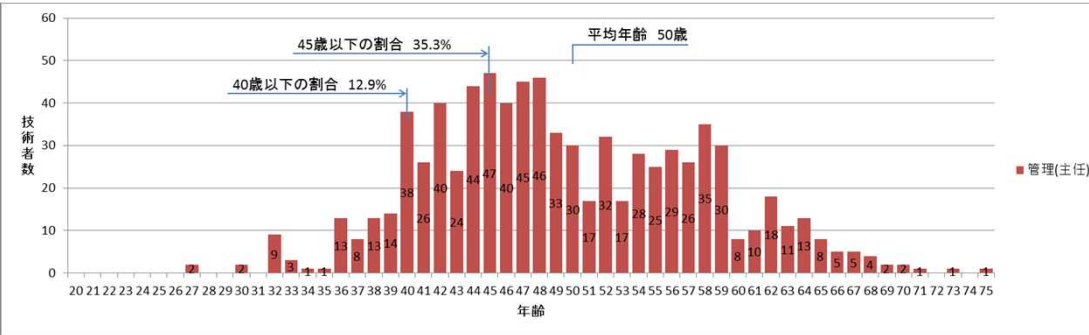


参考:受賞した若手技術者の年齢  
 現場代理人 29~37歳(平均34歳)  
 監理(主任)技術者 35~40歳(平均38歳)  
 管理(主任)技術者 36~44歳(平均41歳)

平成29年度完成工事 技術者年齢分析(監理(主任)技術者、現場代理人)



平成29年度完成業務 技術者年齢分析(管理(主任)技術者)



- 北陸・若手技術者賞の受賞は、1技術者、1回限り(また、過去も含め、優良工事(業務)技術者は対象外)
- 選定は、「現場代理人」、「監理(主任)技術者」、「管理技術者」において各々5名程度を目安に、年齢、成績等を総合的にみて決定
- 優良工事表彰、安全優良受注者表彰等の選定作業を活用することにより、業務負担を軽減。

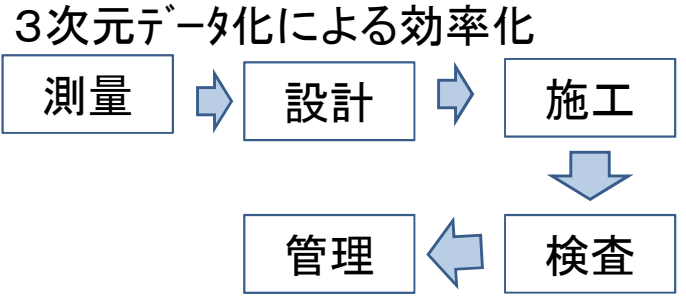


# i-Construction ～建設現場の生産性向上～

- ◆求める先の目的
- ① 経営環境の改善
  - ② 賃金水準の向上
  - ③ 安定した休暇の取得
  - ④ 安全な現場

## i-Construction トップランナー施策

### ICTの全面的な活用 (ICT土工)



#### 【建設現場におけるICT活用事例】

##### 《3次元測量》



##### 《3次元データ設計図》



##### 《ICT建機による施工》



### 全体最適の導入 (コンクリート工の規格の標準化等)

非効率な現場毎の一品設計・生産

↓

全体の最適化を目指し規格を標準化  
・部材の工場製作



#### 現場打ちの効率化 (例) 鉄筋のプレハブ化、埋設型枠の活用

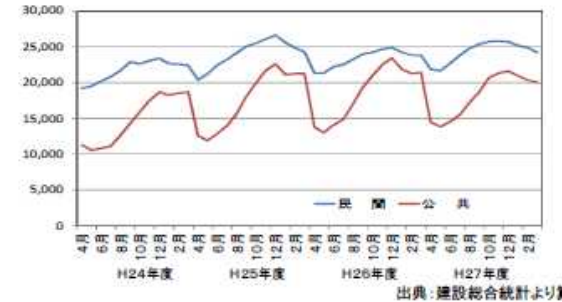


#### プレキャストの進 (例) 定型部材を組み合わせた施工



### 施工時期の平準化

- ・閑散期に工事が動くように平準化
- ・資機材・人材の効率的な活用
- ・労働環境の改善



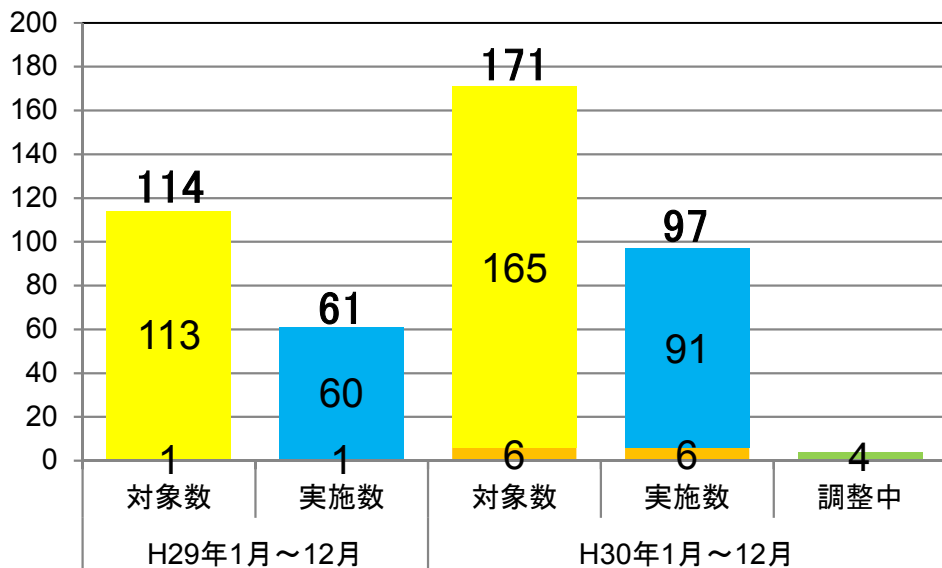
#### 平準化 (i-Construction)



# ICT活用工事(土工)の状況

- ICT活用工事とは、建設現場における生産性の向上を目的に、調査・設計から施工・検査の全てのプロセスにおいてICTを全面的に活用するもの
- 北陸地方整備局では平成29年61件、平成30年97件のICT土工工事を実施（令和元年7月末現在）
- 自治体においても平成29年度39件、平成30年度64件で実施（令和元年7月末現在）

【地整全体】ICT土工実施状況



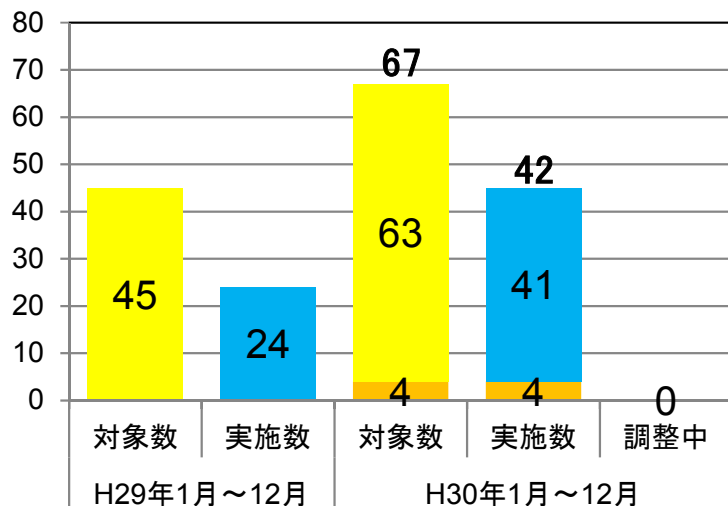
【地整全体】ICT土工関係実施状況

工種	発注タイプ	H29年 1月～12月		H30年 1月～12月	
		対象数	実施数	対象数	実施数
ICT 土工	発注者指定型	1	1	3	3
		14	14	30	29
	施工者希望Ⅰ型	0	0	0	0
		98	45	132	59
		0	0	4	4
	施工者希望Ⅱ型	113	60	165	91
		0	0	4	4
		契約後希望 実施数		1	6
	合計	対象数	114	171	
		実施数	61	97	
	ICT河川 浚渫工 (H30年度～)	契約後希望	-	1	

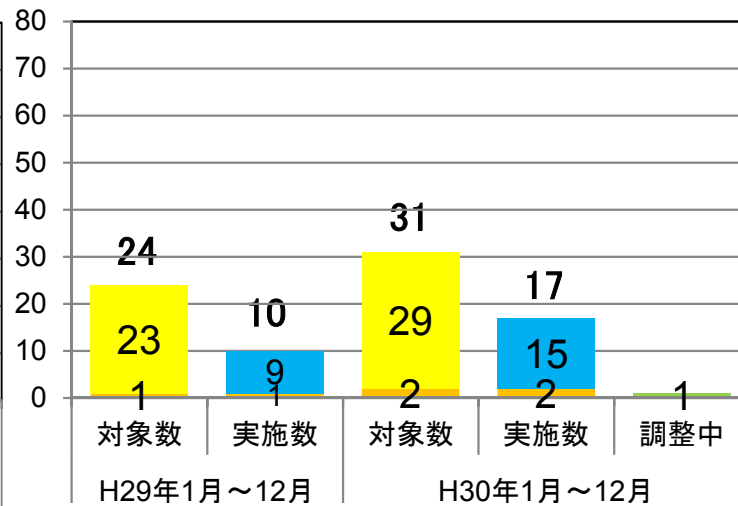
【参考】自治体のICT土工実施状況

	H29年度	H30年度	計
新潟県	19	26	45
富山県	2	9	11
石川県	15	33	48
新潟市	3	1	4
合計	39	64	108

【新潟県】ICT土工実施状況



【富山県】ICT土工実施状況



【石川県】ICT土工実施状況

